

平成 30 年 3 月 12 日

各 位

株 式 会 社 北 都 銀 行

厚岸グリーン電力合同会社様のシンジケートローンへの参画について

「広域連携地銀 8 行による北海道内のメガソーラー事業にプロジェクトファイナンスを提供します。」

北都銀行（頭取：斉藤 永吉）は、北海道銀行（頭取：笹原 晶博）、北洋銀行（頭取：石井 純二）、広島銀行（頭取：池田 晃治）による組成の、北海道厚岸地区で実施される大規模太陽光発電事業（メガソーラー事業）に対するシンジケートローンについて、リード・マネージャーとして参画しましたので下記の通りお知らせいたします。なお、本件は広域連携地銀8行によって組成されており、プロジェクトファイナンスの手法を活用しております。

当行は、今後とも、再生可能エネルギー事業等の様々な資金ニーズに迅速かつ柔軟に対応し、地域経済の活性化に取り組んでまいります。

記

1. 本件の概要

- (1) 事業名称：厚岸メガソーラープロジェクト
- (2) 事業主体：厚岸グリーン電力合同会社
- (3) 事業地：北海道厚岸町尾幌地区
- (4) 発電規模：31.68MW
- (5) リード・アレンジャー：北海道銀行、北洋銀行
- (6) コ・アレンジャー：広島銀行
- (7) リード・マネージャー：北都銀行
- (8) 組成額：115億円
- (9) 契約日：平成30年3月9日
- (10) 参加金融機関：下記の通り

金融機関名(本店所在地)	地銀連携協定
北都銀行(秋田)	東北・北海道地区交流促進地銀連携
北海道銀行(北海道)	東北・北海道地区交流促進地銀連携 地域再生・活性化ネットワーク
北洋銀行(北海道)	TSUBASA プロジェクト
広島銀行(広島県)	地域再生・活性化ネットワーク
第四銀行(新潟県)	TSUBASA プロジェクト
伊予銀行(愛媛県)	TSUBASA プロジェクト
みちのく銀行(青森県)	東北・北海道地区交流促進地銀連携
常陽銀行(茨城県)	—

2. 本件の特色

北海道厚岸町尾幌地区において、敷地面積147万㎡の土地を活用して行われるメガソーラー事業です。本事業の運営を目的として設立された厚岸グリーン電力合同会社（本社：東京都）が事業主体となり、再生可能エネルギー固定価格買取制度（FIT）を活用して北海道電力へ全量売電を行うものです。

大型の再生可能エネルギー事業に対して、地域金融機関含む広域連携地銀によるシンジケート・ローンの組成と、*プロジェクトファイナンスによる融資を行うものです。

(*プロジェクトファイナンスとは、対象事業から生み出されるキャッシュフローを裏付けとする資金調達手法。インフラ整備・運営など大型・長期の調達に活用されるケースが多い。)

【発電所所在地】



以上

《本件に関わるお問合せ先》

地方創生部プロジェクトファイナンス室（担当：佐藤）（内線：3625）

経営企画部広報室（担当：市田）（内線：3811）